

2025 年度 東北工業大学大学院 博士（前期）課程 入学試験（2 期）
建築学研究科 専門科目 A 群（建築史及び建築意匠）

【解答例】

1.

ゴシック建築は屋根荷重を壁に流す力をデザインとしてみせるリブヴォールト、ステンドグラスの光を室内に取り入れるため、外部から壁を支えるフライングバットレスの構造、尖頭型として視覚的にも垂直性を強調するポインテッドアーチといった特色を帯びた。

2.

伝統的な和様の斗拱は柱上のみに置かれる。禅宗様では柱上とその間にも密に配置されて、斗拱が詰組となる。和様で使われる長押は水平線を強調するが、禅宗様になると長押はなく貫を多用し、柱が上へ立ち上がる垂直性が視覚的により強調される。

3.

(1) D (2) B (3) L (4) F (5) I (6) E (7) C (8) J

4.

(1) H (2) D (3) B (4) J (5) I

【出題意図】

建築学専攻の建築史・意匠分野の修学においては、日本および世界の建築の歴史や意匠に関わる基本的な知識をもち、さらに、建築の特徴を的確に捉える記述力や考察力が必要です。これらの到達度を確認することを出題意図とした問題です。